

氾濫（破堤）想定地点は、最大浸水域・最大浸水深を捉える必要があることから、500mの間隔で想定しています。

住宅の浸水被害を防ぐためには

雨水が浸水しないように、土のうや止水板を設置したり、普段から道路の側溝を掃除して、雨水を排水できるようにすることで、住宅の浸水被害を防ぐことができます。

■土のう



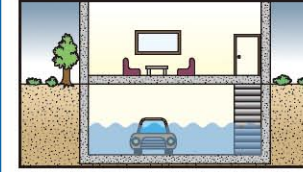
出入口に土のうを置き、雨水の進入を防ぎます。

■止水板



出入口に長めの板を使い、浸水を防ぎます。

■地下室への排水ポンプの設置



地下駐車場、半地下住宅では、排水ポンプを設置し、浸水に備えましょう。

■側溝や雨水ますの集水口の確認



道路の側溝や雨水ますの集水口（グレーチング）に落ち葉などが詰まっていないか確認しましょう。詰まっていたら、取り除いておきましょう。

